

【音楽Ⅱ課題（4/13～5/6）】

教科書『Mousa 2』を使います。

1. p.25『夏は来ぬ』の主旋律（上の声部のみ）について、下記の課題を実施してください。

- 1) 1番と2番の歌詞、両方ともに歌えるようにしてください（3・4・5番は割愛）。
インターネット（YouTube）にいくつか音源があります。参考にしてください。

※ 家にキーボード等のある人は、楽譜通りの高さで音をとってください。

ない人は、当座歌いやすい高さで歌ってかまいません。

休業明けに確認します。

現在、二重唱の実技テスト（上2人＋下2人の4人）を予定しています（全員、上の声部も下の声部も担当します）。

- 2) 旋律を音名（イタリア語と英語）で歌えるようにしてください。
一定の速さで、止まらずに歌えるようにしましょう。ゆっくりでもかまいません。

イタリア語音名（ドレミ～）と英語音名（CDE～）は、p.106の中

央左側あたりに出ています。「楽譜が読めない」と思っている人は、このページを見ながら、1つ1つ音の高さを確認してください。

音名を楽譜に書かずにトレーニングしましょう。休業明けに確認します。

- 3) 旋律をキーボードで弾けるように、鍵盤の絵で練習しましょう。
p.106の上部に、鍵盤の絵があります。この絵には日本音名（ハニホ～）しか書いてありませんが、2)で得た知識を応用してください。

楽譜上のそれぞれの音が、どの鍵盤を押さえればよいか、一音ずつ確認してください。
どの音をどの指で弾くかは問いません。速さも問いません。

休業明けに確認します。

2. p.18～19『糸』について、について、下記の課題を実施してください。

- 1) なるべく、ひとりで歌えるようにしてください。
インターネット（YouTube）にいくつか音源があります。参考にしてください。

※ 音の高さについては、1.と同じとします。

- 2) 歌詞の内容・旋律の上行（高い音に向かって上がる）と下行（低い音に向かって下がる）・あなた自身の肺活量を合わせて考え、どこにブレス（息つき）をいれたらよいか、楽譜に書き込んでください。

休業明けに確認します。

現在、ギターを用いた弾き歌いのテストを予定しています（今後は、キーボードの学習も合わせ、「ギター＋キーボード＋歌」等のアンサンブルも予定しています）。

めげずに、前向きに、がんばってください！